



3月の園だより

令和6年3月1日
目黒区立不動保育園園長

先日、南部地域7園の5歳児クラスが私立ゆらりん下目黒保育園で交流会を行いました。7園の混合チームを作り5歳児担任がゲームを考え進行しながらみんなで遊びました。グループごとに「自分たちのチームが勝つ為には」と作戦会議を開き「風船運びリレー」などをして遊んできました。今月は南部地域7園の園児と不動小学校1年生との交流会も計画されています。子どもたちの人数が更に多くなり小学校の広さなどからより入学への実感もわき、入学に期待がもてることと思います。

延期されていたお店屋さんごっこを2月の末に行いました。今年は全員で買い物を楽しみ、3歳児クラスはドーナツ屋、4、5歳児クラスは混合のグループでクレープ屋と病院が開店しました。ドーナツは2色の味が楽しめる、クレープ屋ではトッピングを選ぶ事ができ、病院ではレントゲンや視力検査、注射などをしてくださいました。いろいろと思考をこらしお互いが楽しめるお店屋さんになりました。事務所でも手作りのダルマを売りました。0歳～2歳児クラスには顔が描いてある物を、3歳～5歳児クラスには自分たちで顔を描いてもらい、可愛いダルマが出来あがりました。近年はカードやスマホ決済の時代ではありますが、今年は買い物用にお金を準備するといろいろな色を使い個性豊かなお金が出来あがりました。自分の財布からお金を渡し、お釣りをもらうやり取りがワクワク、ドキドキな子どもたち終始笑顔で買い物を楽しんでいました。

もうすぐ卒園お祝い会があり就学を迎える5歳児や、部屋を移動し進級の準備が始まる0歳児～4歳児の子どもたちが安心して生活が出来、新年度への期待が持てるように職員一同保育を進めてまいります。



今月の予定



不動小学校1年生と交流

卒園お祝い会
幼児お別れ散歩
お別れ会

5歳児
5歳児
3～5歳児

中旬 身体測定・避難訓練 全園児

～クラス移動日について～

- ・ 荷物の入れ替えなど、新クラスの準備をします。
- ・ 進級した保育室で現担任が保育します。

※詳細は各クラスに掲示します。
ご理解、ご協力をお願いします。

一年間の成長した姿



◀ スズラン組 (0歳児クラス) ▶

入園した時は寝返りをしたり、這い這いやよちよち歩きをしていた子どもたちでしたが、今では段差を上ったり、小走りで行く事が出来るようになり自由に庭や公園で探索を楽しんでいます。小枝や葉を見つけては「あった」と嬉しそうに知らせたり、大好きなカラスや車を見つけると「かーか」「ぶーぶ」と指を差して教えてくれるようになりました。これからも保育士や友達と思いを通わせながら色々な事に興味を広げ、人と関わる楽しさを伝えられるように保育を進めていきたいと思えます。

《 チューリップ組（1歳児クラス） 》

この一年を振り返ると、たくさんの言葉を覚え言葉で伝えようとする姿が増えてきました。茶碗にチュエーリングの具を入れ「どうぞ」と渡してくれ、「これは何ですか」と聞くと「納豆ご飯」や「いちご」と教えてくれます。ブロックで最初は「ぶーぶ」と車を作る事が多かったのですが、今では「ゴミ収集車」「カーキヤリア」など、いろいろな名前を覚えて表現しています。大人や友達に言葉で伝える楽しさや、共有できた時の嬉しい顔が引き続きたくさん見られるように、保育を進めていきたいと思います。



《 タンポポ組（2歳児クラス） 》

子ども同士で誘い合って病院ごっこを始めるようになりました。医者役の子が「今日はどうしました」と尋ねると、患者役の子が「お腹が痛いです」と答えます。すると医者役の子は「注射ですね」とすぐに注射になります。子どもたちの中では病院の注射はとても印象的なようです。自分たちでイメージを共有し役割も決めてごっこ遊びを楽しめるようになりました。生活面でも自分で出来る事が増え自信になっています。これからも子どもたちの自信と意欲を大切にしながら、友達と一緒に遊ぶことが楽しいと思えるように、関わっていききたいと思います。



《 コスモス組（3歳児クラス） 》

部屋では神経衰弱やすごろく、戸外では鬼ごっこや氷鬼など、簡単なルールのある遊びを楽しんでいます。今までは大人が進行しないと遊べなかったことが、今では「鬼ごっこやる人」と子どもたち同士で誘い合う姿が増えてきました。鬼決めやジャンケンのルールを覚え、自分たちでも出来るようになり、頭を寄せ合い集まっている姿が可愛く、成長を感じています。友達が転んでしまうと「大丈夫」と駆け寄る思いやりの気持ちも育って来ています。友達と一緒にやり取りを楽しみながら、たくさん遊ぶ中でいろいろな経験が出来るようにしていきたいと思います。

《 マーガレット組（4歳児クラス） 》

もうすぐ卒園するヒマワリ組にプレゼントを作る為話し合いをしました。自分とよく遊んでくれる「～さんに作りたい」と主張する友達の話を聞き、「じゃあ、～さんは私が作るね、この前、鬼ごっこでたくさん遊んだから」等と相手が決まっていきました。自分の意見や気持ちを伝え、友達の思いを聞きながら自分たちで相談して決めていました。大好きなヒマワリ組の卒園は「嫌だ、寂しすぎる」と泣きそうになりながらも「憧れのヒマワリ組のように自分たちもなりたい」という期待をもって様々な事を頑張る姿に成長を感じています。



《 ヒマワリ組（5歳児クラス） 》

子どもたちが大好きな LaQ を楽しむ中で、完成した作品を玄関に飾りたいとの声が上がりました。最初は作り上げられる作品も小さかったため、一人3個までという約束で飾っていましたが、次第に大作を作れるようになったり、興味を持って遊ぶ子も増えた事でパーツが足りなくなっていました。そこで、子どもたちが作りたい物を作るためにはどうしたら良いかをクラスで話し合う事になりました。いろいろな意見が出てきましたが、「飾るのは一人一つにして、三日間飾ったら片付ける」という意見にまとまりました。何回も作るうちにどんどん難易度が上がり、友達同士で協力したり、難しい部分は得意な子に聞いたりしながら作り上げる姿に成長を感じています。

様々な行事や活動を通して培った様々な力を基にして、期待を胸に4月から自信をもって小学校生活を送って欲しいと思います。